

丸森に観光客招く 猫神さま



4高田石碑群（町観光物産振興公社提供）
一つ一つ表情が違う猫の石碑。場所は丸森町内の①愛敬院②瑞雲寺③福一満虚空藏堂

猫神祭を主催する町観光物産振興公社の担当者は「猫神さまといふ丸森町の石碑文化を知る機会にしてほしい」と来場を呼びかけています。

2022年に始まつた猫の日イベント「猫神祭」は今年で5回目。21、22の両日、町内の不動尊クラインガルテンクラブハウスをメイン会場に、猫グッズの販売や猫の石碑、石像のパネル展示などを「呼び込む地域の宝」に生まれ変わりました。

ズミよけの猫を飼う家が多かつたからです」と説明します。丸森町は花こう岩の産地で、石材を加工する職人「石工」が多く住んでいたのも、石碑、石像が多い理由の一つだそうです。

猫のキヤラクターがデザインされた缶バッジが当たる「猫ガチヤ」。猫の足跡が焼き印されたら焼き。丸森町を訪れると、猫をモチーフにしたグッズや土産物などが、いろんな所にあります。

町が「猫神さま」を地域の売りにするようになったのは、ここ10年ほどの話です。全国的な猫ブーム

ムもあり、猫の石碑や石像に注目が集まつたのがきっかけでした。丸森町の猫の石碑文化を語ると、(68)です。

石黒さんは約20年前、村田町や周辺地域に残る猫の石碑などの俗学を専門とする宮城県村田町歴史みらい館館長の石黒伸一朗さん(68)です。

じょうとがたほごね
讓渡型保護猫カフエ「まるもふ堂」がある宮城県丸森町は、「猫
神さまに会える町」として知られているよ。猫の石碑や石像が84基
もあり、その数は全国で1番なんだ。21、22日には「猫の日」のイ
ベント「猫神祭」が町内で開かれるよ。

調査を始めました。当時の丸森町史には3基しか紹介されていませんでしたが、町内を歩くと一つ、また一つと新しい石碑、石像が見つかりました。

石碑や石像84基 全国最多

21、
22日・イベ
ント